

平成 26 年度「社会教育委員に関する実態調査」結果の概要

愛知県教育委員会生涯学習課

1 調査研究テーマ

「市町村における社会教育委員制度活用の課題と在り方について」

2 調査目的

格差社会、超高齢社会の到来、地域の絆の希薄化など、現代的課題が山積しているなかで、市町村社会教育委員の役割は益々、重要になってくる。

そこで、平成 26 年度愛知県生涯学習審議会社会教育分科会では、県内市町村社会教育委員の現状について調査し、効果的な取組の事例を探し出すとともに社会教育委員のあり方について提言としてまとめ、周知していく。

3 調査期間

平成 26 年 11 月 21 日～12 月 24 日

4 調査基準日

平成 26 年 10 月 1 日時点

※その他、必要の場合、設問に期間を指定

5 調査方法

- ・質問紙法 マークカードによる回答処理

6 調査対象

- ・市町村社会教育委員担当事務局 53 名

西尾張	東尾張	西三河	東三河	合計
14 人	22 人	9 人	8 人	53 人

- ・市町村社会教育委員 計 644 名

西尾張	東尾張	西三河	東三河	合計
161 人	280 人	111 人	92 人	644 人

7 回答者数

- ・市町村社会教育委員担当事務局 53 名（回収率 100.0%）
- ・市町村社会教育委員 計 541 名（回収率 84.0%）

8 統計処理

- ・愛知県総合教育センター情報教育研究室

9 調査項目

- (1) 社会教育委員会議の構成について
- (2) 社会教育委員会議の様子について
- (3) 調査研究活動について
- (4) 社会教育委員の研修について
- (5) 社会教育委員会気の意見の反映方法について
- (6) 社会教育委員の活動について